



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年5月9日
東

上場会社名 株式会社スペース 上場取引所
コード番号 9622 URL http://www.space-tokyo.co.jp/
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)若林 弘之
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理統括本部長 (氏名)林 顕 (TEL) 03(3669)4008
四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期 第1四半期	10,954	△0.9	924	34.3	918	33.8	627	46.2
28年12月期 第1四半期	11,057	7.7	688	8.5	686	7.9	429	0.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期 第1四半期	28.57	—
28年12月期 第1四半期	19.55	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期 第1四半期	35,450	25,145	70.9
28年12月期	31,362	25,137	80.2

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 25,145 百万円 28年12月期 25,137 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,300	3.3	1,800	13.7	1,800	13.8	1,200	34.2	54.61
通期	50,100	1.7	3,600	6.9	3,600	7.1	2,400	10.6	109.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期1Q	24,182,109株	28年12月期	24,182,109株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	2,212,470株	28年12月期	2,212,460株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期1Q	21,969,644株	28年12月期1Q	21,970,196株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類P.3「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(3) 追加情報	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7
(重要な後発事象)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（平成29年1月1日～平成29年3月31日）における当社を取り巻く事業環境は、雇用・所得環境の改善が続くなか、企業収益の増加を背景に設備投資は持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況の下、当社は中期経営計画に基づき、安定した利益を確保するため、収益性及び生産性の向上を目的とした社内体制の整備及び強化を行ってまいりました。しかし、商業施設の新規出店数の減少による影響など厳しい状況が続いております。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は109億54百万円（前年同四半期比0.9%減）、営業利益は9億24百万円（前年同四半期比34.3%増）、経常利益は9億18百万円（前年同四半期比33.8%増）、四半期純利益は6億27百万円（前年同四半期比46.2%増）となりました。

なお、当社はディスプレイ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載に代えて、市場分野別に記載しております。

市場分野別の売上高は次の通りであります。

区分	前第1四半期累計期間 (自 平成28年 1月 1日 至 平成28年 3月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成29年 1月 1日 至 平成29年 3月31日)		増減	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	増減率 (%)
複合商業施設 ・総合スーパー	1,475	13.3	2,016	18.4	541	36.7
食品スーパー ・コンビニエンスストア	1,124	10.2	1,373	12.5	248	22.1
各種専門店	5,668	51.3	5,631	51.4	△36	△0.6
飲食店	1,435	13.0	942	8.6	△492	△34.3
サービス等	1,353	12.2	990	9.1	△363	△26.8
合計	11,057	100.0	10,954	100.0	△102	△0.9

当第1四半期累計期間における市場分野別の売上高は、複合商業施設・総合スーパー分野並びに食品スーパー・コンビニエンスストア分野では、企画・設計・内装監理及び既存店活性化への取り組みに伴う受注が増加いたしました。一方で飲食店分野並びにサービス等分野では、原材料価格の上昇や人手不足に伴うコスト上昇等の影響を受け、受注は減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産は、354億50百万円（前事業年度比40億88百万円増）となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ42億3百万円増加し、246億9百万円となりました。その主な要因は、法人税等の確定申告納付及び配当金の支払により現金及び預金が8億93百万円減少したものの、当四半期完成物件による完成工事未収入金が22億15百万円、翌四半期以降の完成予定物件による未成工事支出金が31億31百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億14百万円減少し、108億41百万円となりました。その主な要因は、減価償却により有形固定資産が43百万円、投資有価証券の株価下落等により投資その他の資産が64百万円、それぞれ減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は、103億5百万円（前事業年度比40億80百万円増）となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ40億74百万円増加し、83億69百万円となりました。その主な要因は、工事未払金が38億4百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ5百万円増加し、19億35百万円となりました。その主な要因は、固定負債のその他に含まれるリース債務が3百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、251億45百万円（前事業年度比8百万円増）となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が70百万円減少したものの、利益剰余金が78百万円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月9日発表の第2四半期（累計）及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,107,073	10,213,415
受取手形	1,603,298	1,215,813
完成工事未収入金	5,399,637	7,615,617
未成工事支出金	2,034,241	5,165,579
材料及び貯蔵品	7,845	7,683
その他	258,864	396,967
貸倒引当金	△5,100	△5,800
流動資産合計	20,405,861	24,609,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,999,083	2,966,394
土地	5,531,601	5,531,601
その他(純額)	181,353	170,563
有形固定資産合計	8,712,039	8,668,560
無形固定資産	117,881	110,733
投資その他の資産		
その他	2,130,913	2,062,300
貸倒引当金	△4,445	—
投資その他の資産合計	2,126,468	2,062,300
固定資産合計	10,956,389	10,841,594
資産合計	31,362,250	35,450,871
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,702,482	5,507,397
短期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	548,488	478,781
賞与引当金	83,770	526,680
完成工事補償引当金	39,394	38,217
受注損失引当金	28,920	32,630
その他	1,592,056	1,486,053
流動負債合計	4,295,113	8,369,759
固定負債		
長期末払金	351,157	351,157
退職給付引当金	1,576,442	1,578,267
その他	2,298	6,054
固定負債合計	1,929,898	1,935,479
負債合計	6,225,011	10,305,239

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,537	3,395,537
資本剰余金	3,566,800	3,566,800
利益剰余金	19,534,265	19,612,848
自己株式	△1,728,308	△1,728,321
株主資本合計	24,768,294	24,846,864
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	368,944	298,767
評価・換算差額等合計	368,944	298,767
純資産合計	25,137,238	25,145,632
負債純資産合計	31,362,250	35,450,871

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高		
完成工事高	11,057,417	10,954,710
売上原価		
完成工事原価	9,876,831	9,474,268
売上総利益	1,180,585	1,480,441
販売費及び一般管理費	492,461	556,094
営業利益	688,124	924,346
営業外収益		
受取利息	430	261
受取配当金	1,424	1,056
受取地代家賃	5,444	4,477
その他	1,285	1,115
営業外収益合計	8,584	6,910
営業外費用		
支払利息	943	943
売上割引	4,276	5,739
為替差損	1,736	2,600
不動産賃貸費用	1,974	1,584
その他	1,349	1,776
営業外費用合計	10,280	12,643
経常利益	686,428	918,613
特別損失		
固定資産除売却損	37	0
特別損失合計	37	0
税引前四半期純利益	686,390	918,613
法人税、住民税及び事業税	364,922	440,958
法人税等調整額	△108,053	△150,169
法人税等合計	256,869	290,788
四半期純利益	429,521	627,824

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。